

# アイヌタイムズ 第25号 日本語版

---

---

---

## ★トリカブト

トリカブトをアイヌ語でスルクと言います。  
トリカブトの毒で熊や鹿などを獲りました。  
トリカブトの毒を付けた矢に当たった熊  
は、最初は暴れるが、徐々に静かになり、気

力を失って、口から泡を吹いて死にます。ス  
ルクカムイ（毒の神）が獲物を酔わせるから  
だと考えられていました。

微量を笹の葉に塗り、舌にのせました。その毒が強いかどうかを、それによって知りました。これは、「スルク サツケ(毒の塩梅を見る)」と言われます。

私たちが間違っただけで毒にかかると、すぐ死にます。

砂沢クラさんは、以下のように書きました：

「若いおばさん、走ってきて、若いおじさん熊取りしかけにかかったと言って走った。父母は荷物が重くて遅く着きましたから、かわいそうに若いおじさん苦しんで身のやり場がないようにころがっていました。それから、毎日毎日、矢の傷、草の根で直したが、だんだん悪くなって、少し良くなっても、また悪くなり、ある日からだ全体が腫れて、その日に亡くなりました。」

(『私の一代の思い出』砂沢クラ著  
昭和58年 みやま書房 p.33-34)

中本ムツ子さんは以下のように言いました：

「トリカブトとニリンソウは、まだ小さいうちは似てます。しかし、大きくなれば違い

がはっきりします。」

(『ウバシクマ1』語り・中本ムツ子、編・解説・片山龍峯  
1999年 片山言語文化研究所 p.59)

春になると、ニリンソウの花が咲きます。花は白です。

秋になると、トリカブトの花が咲きます。花は紫です。

ニリンソウの茎は中空ですが、トリカブトの茎は違います(編註：中が随で塞がっています)。

トリカブトの茎は潰すと、ピリッと苦臭いがしますが、ニリンソウは刺激臭はありません。

トリカブトの毒成分である「アコニチン型アルカロイド」は、神経細胞に作用します(編註：「神経毒」)。

トリカブトを食べると、体じゅうがしびれ、体が弱くなり、死にます。

漢方では、トリカブトから附子(ぶし)という薬が作られます。

しかし、毒があるので、医者しか使ってはけません。

[横山 裕之] 沙流・千歳

## ◎トピックス

◆ 3月20日、イギリスと共にアメリカがイラクを攻撃しました。何とかして戦争が起こらないように国連でいろんな国の人たちが相談しましたが、結局戦争になりました。

国連の人たちは何のために今まで相談したのでしょうか？

今も、たくさんの爆弾が落とされて、多くの人たちが殺されてしまいました。そうする

ことを日本国が承諾すると言ったことは本当に腹立たしいです。

いろんな国の人たちがアメリカに抗議するために助け合って、デモをしています。

今からも、どうなるのかわかりませんが、もう一人も殺されずにいて欲しいです。

[浜田 隆史] 沙流・千歳

### アイヌタイムズ 第25号日本語版(季刊)

発行所 アイヌ語ペンクラブ  
〒055-01 沙流郡平取町二風谷80-25  
萱野 志朗 気付

発行責任者 野本 久栄  
編集責任者 浜田 隆史